

リーディングDXスクール事業【実践事例】

札幌市立西陵中学校（北海道）【指定校】

【取組内容】 日常的なグループ学習とICTの活用による個別最適・協働的な学びの推進

◎日常的なグループ学習とICTの活用による個別最適・協働的な学びの推進

- ・学習環境を3名程度のグループとする。
- ・端末を使いたいときにすぐ使えるような準備をしておく。
- ・学習課題に対する一人一人の進行状況を授業支援アプリで確認する。
- ・協働的な作業や交流する場面でも授業支援アプリを常時使用する。
- ・チャット機能によるやりとりで個別にサポートする。

〔授業支援アプリ〕



【生徒の姿】

課題解決に向けて調べたい時にすぐに調べたり、相談したい時にすぐ相談したり、分かったことや分からないことをすぐ伝え合うことができる。

【教師の支援】

全体の進行状況を端末で確認しながら、個別支援や全体への呼びかけ等を行い、生徒が主体的となる学びをサポートする。